

Chemins Croisés

本橋成一と
ロベール・ドアノー



橋成一 (羽根炭鉱 北海道 羽幌町) (炭鉱) より 1968年 © Motohashi Seiichi

交差する物語

2023.6.16 | 金 | - 9.24 | 日 |

東京都写真美術館 2階展示室 [恵比寿ガーデンプレイス内]

開館時間: 10:00-18:00 (木・金は20:00まで) 入館は閉館の30分前まで

休館日: 毎週月曜日 (月曜日が祝休日の場合開館、翌平日休館)

観覧料: 一般800円 / 学生640円 / 中高生・65歳以上400円

※小学生以下、都内在住・在学の中学生および障害者手帳をお持ちの方とその介護者(2名様まで)は無料
※各種割引の併用はできません。

主催: 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館

後援: 在日フランス大使館 / アンスティチュ・フランセ日本、J-WAVE 81.3FM

助成: 公益財団法人花王芸術・科学財団

協賛: 東京都写真美術館支援会員

特別協力: アトリエ・ロベール・ドアノー、コンタクト、ポレボレタイムス社

本展はオンラインによる日時指定予約を推奨いたします。事業は諸般の事情により、変更することがございます。
最新情報は当館ホームページでご確認ください。



公益財団法人 花王 芸術・科学財団



ロベール・ドアノー 《4本のヘアピン、サン・ソヴァン》1951年 © Atelier Robert Doisneau / Contact

TOP MUSEUM

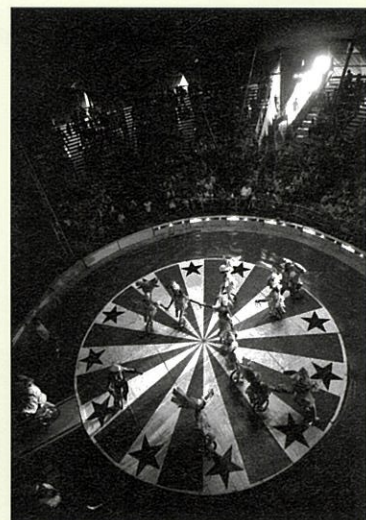
Motohashi Seiichi and Robert Doisneau



1



2



3

写真や映像は、相手に対する想いとイマジネーションだ。 —本橋成一

相手をこよなく愛してこそ、写真を撮ることが許されるのだ。 —ロベール・ドアノー



4



5



6

本橋成一とロベール・ドアノー 交差する物語

このたび東京都写真美術館では「本橋成一とロベール・ドアノー 交差する物語」展を開催いたします。

本橋成一は東京に生まれ、50年以上にわたり、写真と映画によって、揺れ動く社会とそこに暮らす人々の姿を記録してきました。一方ロベール・ドアノーは、パリや自身が生まれたパリ郊外を舞台として、常にユーモアをもって身近にある喜びをとらえてきました。生まれた時代・地域が異なる二人の写真家ですが、奇しくも炭鉱、サーカス、市場など、同じテーマによる優れたルポルタージュを残しています。そして、それぞれに第二次世界大戦による混乱を経験した二人は、慎ましくも懸命に生きる人々の営みの中に、力強さと豊かさを見出し、失われゆく光景とともに写真に収めてきました。

多くの対立、紛争の絶えない現代において、人間に対する際限のない愛情と好奇心が生み出す視線、そしてユーモアや優しさをもって現実や社会と関わった二人の写真家によって編み出される物語を通して、生きることの豊かさについて考える機会となれば幸いです。

本橋成一 | Motohashi Seiichi

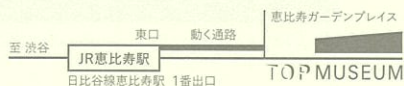
1940年東京・東中野生まれ。1960年代から市井の人々の姿を写真と映画で記録してきた写真家・映画監督。1968年「炭鉱（ヤマ）」で第5回太陽賞受賞。以後、サーカス、上野駅、築地魚河岸などに通い撮影し発表。写真集「ナージャの村」で第17回土門拳賞、映画「アレクセイと泉」で第12回セントペテルブルグ国際映画祭グランプリを受賞するなど国内外で高い評価を受けている。

ロベール・ドアノー | Robert Doisneau

1912年パリ郊外のジャンティイ生まれ。エコール・エスティエンヌで石版を学び、写真家アンドレ・ヴィニョーの助手となる。自動車会社ルノー社のカメラマンなどを経て、1939年フリーとして活動を開始。特にパリの庶民たちの日常をとらえた写真で高い評価を得て、ニエプス賞（1956年）、フランス国内写真大賞（1983年）など受賞多数。1994年逝去（享年82歳）。

1. 本橋成一（築地市場 東京）1984年 2. 本橋成一（上野駅 東京）1980年
3. 本橋成一（木下サーカス 東京 二子玉川園）19810年 © Motohashi Seiichi
4. ロベール・ドアノー（エベル広場の子もたち、パリ）1945年 5. ロベール・ドアノー（ラリー・アドラーと彼のハーモニカ、パリ）1946年頃 6. ロベール・ドアノー（リヴオリ通りのスモックたち）1978年 © Atelier Robert Doisneau / Contact

東京都写真美術館
TOKYO PHOTOGRAPHIC ART MUSEUM

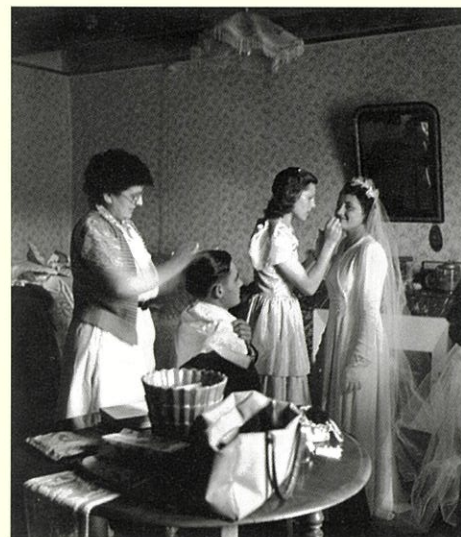


〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内
Tel. 03-3280-0099 www.topmuseum.jp
JR恵比寿駅東口より徒歩約7分、東京メトロ日比谷線恵比寿駅より徒歩約10分
当館には駐車場はございません。近隣の有料駐車場をご利用ください。

Chemins Croisés



本橋成一と
ロベール・ドアノー
交差する物語



2023.6.16|金|ー9.24|日|

会場：東京都写真美術館 2階展示室

開館時間：10:00-18:00(木・金は20:00まで) 入館は閉館の30分前まで

休館日：毎週月曜日(月曜日が祝休日の場合開館、翌平日休館)

主催：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館

後援：在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本、J-WAVE 81.3FM

助成：公益財団法人花王芸術・科学財団 協賛：東京都写真美術館支援会員

特別協力：アトリエ・ロベール・ドアノー、コンタクト、ポレポレタイムス社



公益財団法人 花王 芸術・科学財団

TOP MUSEUM

Matohashi Seichi and Robert Doisneau

差出人・返還先 メールカスタマーセンター(株)
〒105-0022 東京都港区海岸1-2-20-21F

料金後納
ゆうメール

展览会のご案内 | INVITATION

本橋成一とロベール・ドアノー 交差する物語

2023年6月16日(金)－9月24日(日)

- 本展開催に伴う特別鑑賞会はありません。
- 本状で会期中1回、2名様までご鑑賞いただけます。
- 本状はオンラインによる日時指定予約の対象外です。直接展示室受付へお越しください。
- 展示室への入場制限を行う場合、混雑状況により入場をお待ちいただくことがあります。
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止に関する取り組みについては、当館ウェブサイトをご確認ください。
- 事業は諸般の事情により、変更することがございます。最新情報は当館ウェブサイト等をご確認ください。

Motohashi Seiichi and Robert Doisneau Chemins Croisés

June 16 (Fri.) — September 24 (Sun.), 2023

- No special viewing will be held for this exhibition.
- With this invitation, up to two visitors may view the exhibition on one occasion.
- The online ticket system (time entry reservations) does not apply to this invitation. Simply go to the reception desk and present your invitation.
- If restrictions on the number of visitors in the galleries are in effect, you may be asked to wait to enter if the galleries are crowded.
- For information on safety measures being taken at the museum to prevent the spread of the novel coronavirus (COVID-19), please visit our website.
- The museum's opening hours and exhibitions are subject to change. Please check our website for the latest information and exhibition details

〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内
Yebisu Garden Place, 1-13-3, Mita, Meguro-ku, Tokyo 153-0062 Tel: 03-3280-0099 www.topmuseum.jp

JR 恵比寿駅東口より徒歩約7分・東京メトロ日比谷線恵比寿駅1番出口より徒歩約10分。
当館には専用の駐車場はございません。お車でのご来館の際は近隣の有料駐車場をご利用ください。

About 7 minutes' walk from the East Exit of JR Ebisu Station or 10 minutes' walk from the Exit 1 of Hibiya Line (Tokyo Metro), Ebisu Station. Please refrain from arriving by private automobile as parking is not available.



東京都写真美術館
TOKYO PHOTOGRAPHIC ART MUSEUM

上：本橋成一 《羽根炭鉱 北海道 羽根町》(炭鉱)より
1968年 © Motohashi Seiichi
下：ロベール・ドアノー 《4本のヘアピン、サン・ソヴァン》
1951年 © Atelier Robert Doisneau / Contact

Chemins Croisés



本橋成一 《羽幌炭鉱 北海道 羽幌町》(炭鉱)より 1968年 © Motohashi Seichi

本橋成一と
ロベール・ドアノー

交差する物語

2023.12.8|金|—2024.1.28|日|

田川市美術館

開館時間：9:30-17:30 入館は閉館の30分前まで

休館日：月曜日(祝日の場合はその翌日)、12月29日(金) - 1月3日(水)

観覧料：一般800円(700円) / 高大生600円(500円) / 中学生以下無料

※()内は20名以上の団体および田川市在住者[要身分証明書]の料金 ※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方とその介助者1名および高校生以下[土曜日のみ]無料

主催：田川市美術館

後援：福岡県教育委員会、朝日新聞社、西日本新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、CROSS FM、LOVE FM

協力：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館、アトリエ・ロベール・ドアノー、コンタクト、ポレポレタイムス社



ロベール・ドアノー 《4本のヘアピン、サン・ソヴァン》1951年 © Atelier Robert Doisneau / Contact

 田川市美術館
TAGAWA MUSEUM OF ART

Motohashi Seichi and Robert Doisneau



1



2



3

写真や映像は、相手に対する想いとイマジネーションだ。本橋成一

相手をこよなく愛してこそ、写真を撮ることが許されるのだ。ロベール・ドアノー



4



5



6

本橋成一とロベール・ドアノー 交差する物語

このたび田川市美術館では「本橋成一とロベール・ドアノー 交差する物語」展を開催いたします。

本橋成一は東京に生まれ、50年以上にわたり、写真と映画によって、揺れ動く社会とそこに暮らす人々の姿を記録してきました。一方ロベール・ドアノーは、パリや自身が生まれたパリ郊外を舞台として、常にユーモアをもって身近にある喜びをとらえてきました。生まれた時代・地域が異なる二人の写真家ですが、奇しくも炭鉱、サーカス、市場など、同じテーマによる優れたルポルタージュを残しています。そして、それぞれに第二次世界大戦による混乱を経験した二人は、慎ましくも懸命に生きる人々の営みの中に、力強さと豊かさを見出し、失われゆく光景とともに写真に収めてきました。

多くの対立、紛争の絶えない現代において、人間に対する際限のない愛情と好奇心が生み出す視線、そしてユーモアや優しさをもって現実や社会と関わった二人の写真家によって編み出される物語を通して、生きることの豊かさについて考える機会となれば幸いです。

本橋成一 | Motohashi Seiichi

1940年東京・東中野生まれ。1960年代から市井の人々の姿を写真と映画で記録してきた写真家・映画監督。1968年「炭鉱（ヤマ）」で第5回太陽賞受賞。以後、サーカス、上野駅、築地魚河岸などに通い、作品を発表。写真集「ナージャの村」で第17回土門拳賞、映画「アレクセイと泉」で第12回ロシア・サントペテルブルグ国際映画祭グランプリを受賞するなど国内外で高い評価を受けている。

ロベール・ドアノー | Robert Doisneau

1912年パリ郊外のジャンティ生まれ。エコール・エスティエンヌで石版を学び、写真家アンドレ・ヴィニョーの助手となる。自動車会社ルー社のカメラマンなどを経て、1939年フリーとして活動を開始。特にパリの庶民たちの日常をとらえた写真で高い評価を得て、ニエプス賞（1956年）、フランス国内写真大賞（1983年）など受賞多数。1994年逝去（享年82歳）。

【関連イベント】映画上映会（本橋成一監督作品）

「アラヤシキの住人たち」（2015年、117分）

日時：2023年12月9日（土）13:00 - ※本橋成一監督の登壇あり

「アレクセイと泉」（2002年、104分）

日時：2023年12月23日（土）14:00 -

「ナージャの村」（1997年、118分）

日時：2024年1月21日（日）14:00 -

会場：田川市美術館 AVホール

料金：無料（要観覧券） 定員：約40名（申し込み不要・先着順）

※上映30分前開場 ※イベントは諸般の事情により変更になる場合がございます。最新情報は当館HPでご確認ください。



- 天神・博多方面から
[バス] 天神高速バスターミナル(福岡県立大学行) (香春町役場行) ▶石炭記念公園口下車 徒歩約8分
[電車] 博多駅(福北ゆたか線) ▶新館塚駅(後藤寺線) ▶田川後藤寺駅下車 タクシー約8分
- 小倉方面から
[電車] 小倉駅(日田彦山線) ▶田川伊田駅下車 タクシー約6分

〒825-0016 福岡県田川市新町11-56

Tel. 0947-42-6161 <https://tagawa-art.jp/>



1. 本橋成一《築地市場 東京》1984年 2. 本橋成一《間根サーカス 静岡 沼津市》1976年 3. 本橋成一《静夫の家 福岡 鞍手町》《炭鉱》より 1965年 © Motohashi Seiichi 4. ロベール・ドアノー《エペール広場の子どもたち、パリ》1945年 5. ロベール・ドアノー《ラリー・アドラーと彼のハーモニカ、パリ》1946年頃 6. ロベール・ドアノー《リヴォリ通りのスモックたち》1978年 © Atelier Robert-Doisneau / Contact